

<グッドデザイン賞 受賞内容について>

1. サステナブルな「医療」を実現する-八王子モデル-

・医療法人社団 KNI 他 6 社(※)と NEC による共創活動

※株式会社 Kitahara Medical Strategies International、株式会社相武企業、住デザイン
オフィス、三井住友信託銀行株式会社、学校法人 多摩美術大学、有限会社バーゼル

【概要】

財源と労働力不足で破綻寸前の日本医療を持続可能とする事業。医療・生活情報や急病時に受けたい医療、その後送りたい生活、行いたい葬儀など意思を登録するデータベース「デジタルリビングウィル」、その情報を基に医療、介護、生活の支援を行うサービス「北原トータルライフサポート倶楽部」、病気の予防のために免疫力を高める空間「ヒーリングファシリティ」、最短で最大限の回復を独自のリハビリプログラムと ICT や AI を用いて実現を目指す病院「デジタルホスピタル」。全て保険診療に依存しないサービスだが高品質低価格である。救急病院の北原国際病院と連携し国の財源に頼らず八王子市民に安心、安全で健康的な生活の提供を目指す。

【審査委員の評価】

医療、介護、生活支援、終活など、それぞれに高齢者にとっては必要であるが、分断されがちなサービスを、一気通貫で提供する取り組みをアイデアや机上の空論ではなく、実際のサービスに落としとして提供している点を評価した。また、財源・労働力不足が叫ばれる医療、介護の現場にあって、国や地方公共団体の財源に頼らずに継続可能性のある形でビジネスモデルを構築しようとしている点も見逃せない。このような取り組みを社会に周知することに価値があると考えた。

※医療法人社団 KNI グッドデザイン賞受賞プレスリリースサイト

<https://join4future.com/report/8785/>



2. ローソン 新型 POS レジ

(販売時点情報管理用金銭登録機 ATLAS POS)

※株式会社ローソンと NEC による共同開発

【概要】

対面カウンター型店舗向けの省スペース型 POS のデザインです。画面を縦型にしてアプリケーションも最適化することにより設置面積を小さく、スマホやタブレットに近い操作性にすることで習得時間の短縮を実現。

カウンター上を広く、ディスプレイ下の空間を有効活用するために、アーム式のディスプレイを採用。

さらに、アーム支柱と制御部のケースを兼用することで省スペース化を実現し、この空間にプリンター、決済端末、バーコードハンディスキャナ置台、また店舗オリジナルの募金箱が設置可能。これにより設置面積を約 54%削減。加えて、ベースの樹脂カバー内にケーブル類を収納することでカウンター上をすっきりさせた。

【審査委員の評価】

マッシブな塊に造形処理を施して機能体を形成する従来の構成法を採らずに、インターフェースとしての液晶画面とそれを支えるアーム部・制御部・基底部の各ユニット間の相互の関係性で本体全体を機能的に構成。

これにより煩雑な店舗空間にあってもフットプリントやボリュームを抑えて環境に溶け込む製品に仕上がっている。



3. ブレンドコーヒー 飲める文庫

【概要】

日本には数々の名作文学があるが、若者の読書離れは進む一方とされている。そこで、名作文学と出会う新しいキッカケをつくることを考えた。日本有数の文豪たちの作品レビューを1万件以上 AI に学習させ、名作文学の読後感を「余韻」「クリア感」「甘味」「苦味」「飲みごたえ」というコーヒーの味を表現する5つの指標に変換。指標をもとにコーヒーマイスターが豆をブレンド・焙煎し、『人間失格ブレンド』『こころブレンド』など日本文学の名作を「飲んで味わう」コーヒーに。新しい読書体験として、コーヒーショップで販売した。商品は、ネット販売開始後40分で完売。若者を中心に SNS で大きな話題を呼び、新たな文学との接点となった。

【審査委員の評価】

個人的には AI というものに拒否反応がある。一方、文学はとても身近なものだ。今の若い人にとって、もしかしたらそれは逆なのかもしれない。AI と文学、デジタルとアナログの両極端を結びつけるために「味覚」という接着剤をもってきたところが新しい。世の中にたくさんある対極なものをくっつけていくために、これからもっとデザインの力が必要になってくると思うが、このプロジェクトはわかりやすい指標となっている。

※飲める文庫について

<https://jpn.nec.com/ai/coffee/index.html>

